

(様式第3号)

論文要旨

論文題目：沖縄の多元文化と景観・地域形成に関する研究

沖縄には古い時代から、中国・日本を始め、多くの異文化との交流の歴史背景がある。特に、琉球王国時代の海上大交易のときから、沖縄文化そのもの自身も多くの異文化に影響を受けつつ、今に至るまで、沖縄らしい特徴がある新たな沖縄多元文化が形成してきた。グスク遺跡、首里城、国際通り、米軍基地……沖縄の景観・地域形成もその多元文化の源泉を浴びて孕んできたものといえるだろうか。しかし、戦争によって、沖縄の伝統景観の多くは破壊されたが、戦後、廃墟の中から重建してきた沖縄の景観は日常の場にあった原風景は大きく失われてしまった。残念ながら、沖縄には、その多元文化の関係を示す根拠がまだ存在している。これらの文化の存在を確認すると共に、それが与えた景観形成への影響を検証することが、地域によるまちづくりの方向を探るためにも必要とされる。

本研究では、①沖縄における多元文化の存在とその具体的な発展過程を明らかにし、②沖縄における景観・地域形成の過程を把握し、多元文化が景観・地域形成に与えた影響を明らかにし、③実例とする那覇市久米地区の地域形成過程及び多元文化が与えた影響を明らかにすることを目的とし、今後の沖縄における、個性ある景観づくりの方向性を探る。

本論文は三部で構成する。

序章は、研究の背景・意義や目的、既往研究の整理から位置づけを明確し、論文全体の構成を紹介する。

第一部は、沖縄における多元文化の歴史源流を探る。主に琉球、中華、大和三つの伝統的な文化を中心とし、先史古琉球・王国前期・王国後期・近代の沖縄県・米軍統治期・復帰以降の6つの時期に分けて考察し、沖縄の重大な文化交流、地域変化出来事の歴史年表をまとめる。

第二部は、沖縄の景観・地域形成と多元文化の影響を研究する。まず、沖縄景観形成の要素を抽出、分類し、自然・人工各要素と景観・地域形成との関係を分析する。それから、時代発展の順番で沖縄の景観形成、地域変容過程を考察する。そして、那覇市久米地区を事例とし、研究を実態的に進める。まず、久米地区の旧跡について、調査を行う。旧跡リストを作成してから、ベースマップにプロットし、久米地区の旧跡変遷をまとめる。それから、面、線、点三つのレベルで、地域形成過程を時代別に分析し、その特徴を把握する。最後、琉球・中華・大和三つの文化別で多元文化が地域形成に与えた影響を分析し、結論をまとめる。

第三部は、結章として、前各章の内容概要を整理、総括し、今後の研究課題を述べる。

氏名 SONG YANGLE

(様式第5-2)

平成20年2月8日

琉球大学大学院
理工学研究科長 殿

論文審査委員

主査 氏名 池田 孝之

副査 氏名 堤 純一郎

副査 氏名 小倉 暢之



学位（博士）論文審査及び最終試験の終了報告書

学位（博士）の申請に対し、学位論文の審査及び最終試験を終了したので、下記のとおり報告します。

記

申請者	専攻名 総合知能工学 氏名 SONG YANGLE 学籍番号 [REDACTED]		
指導教員	池田 孝之		
成績評価	学位論文 <input checked="" type="radio"/> 合格 <input type="radio"/> 不合格	最終試験 <input checked="" type="radio"/> 合格 <input type="radio"/> 不合格	
論文題目	沖縄の多元文化と景観・地域形成に関する研究		
審査要旨（2000字以内）			
本研究は、①沖縄における多元文化の存在とその具体的な発展過程を明らかにし、②			
沖縄における景観・地域形成の過程を把握し、多元文化が景観・地域形成に与えた影響			
を明らかにし、③実例として那覇市久米地区の地域形成過程及び多元文化が与えた影響			

(次頁へ続く)

を明らかにすることを目的とし、今後の沖縄における、個性ある景観づくりのための方向性を考察したものである。

本論文は三部で構成される。第一部は、沖縄における多元文化の歴史的源流を探る。主に琉球、中華、大和の三つの伝統的な文化を中心として、先史古琉球、王国前期、王国後期、近代の沖縄県、米軍統治期、復帰以降の6つの時期に分けて考察し、沖縄の重大な文化交流、地域変化や出来事の歴史的年表にあらわした。

第二部は、沖縄の景観・地域形成と多元文化の影響について追及している。まず、沖縄の景観形成の要素を抽出、分類し、自然・人工の各要素と景観・地域形成との関係性を分析している。そして、時代発展の順番で沖縄の景観形成、地域変容過程を考察した。

続いて、那覇市久米地区を事例として、実態的な検証を行っている。久米地区の旧跡について、現地調査を行い、旧跡リストを作成し、ベースマップにプロットする等、久米地区の旧跡変遷、分布の特徴を解明した。さらに、点、線、面の三つのレベルで地域形成過程を時代別に分析し、その特徴を明らかにした。最後に、琉球、中華、大和の三つの文化別に多元文化が地域形成に与えた影響を明らかにした。第三部で結論を述べた。

本審査委員会は申請学位論文について資格要件及び内容を慎重に審査した結果、合格と認定する。最終試験として2月5日に実施した公聴会においても25名の参加を得て活発な質疑に答え、多くの視点からの評価が得られた。以上から本研究論文は、本学大学院理工学研究科総合知能工学専攻における博士（工学）の学位論文として認める。